

報道関係者各位

「インフルエンザ警報」の発令について

山形県感染症発生動向調査第52週（12月23日～12月29日）におけるインフルエンザ定点医療機関（県内46カ所）からのインフルエンザ患者報告数が一定点あたり30.28となり、国立感染症研究所の警報レベルである「30」以上となったことから、本日、「インフルエンザ警報」を発令します。

つきましては、県民の皆様への注意喚起に御協力くださるようお願いいたします。

1 最近の一定点医療機関あたりの患者報告数

（ ）内は報告人数

地区別	令和元年第50週 (12/9～12/15)	令和元年第51週 (12/16～12/22)	令和元年第52週 (12/23～12/29)
山形県	16.13 (742人)	26.43 (1,216人)	30.28 (1,393人)
山形市	20.20 (202人)	33.90 (339人)	26.60 (266人)
村山	22.00 (220人)	32.70 (327人)	42.70 (427人)
最上	8.25 (33人)	16.00 (64人)	26.75 (107人)
置賜	18.89 (170人)	27.78 (250人)	40.89 (368人)
庄内	9.00 (117人)	18.15 (236人)	17.31 (225人)
全国	15.62 (77,425人)	21.22 (105,221人)	1月10日(金)公表予定

2 インフルエンザについて

- 1～4日間の潜伏期間を経て、突然の高熱とともに、関節痛、筋肉痛などの全身症状が現れるのが特徴で、のどの痛み、鼻汁、咳などの症状がこれに続きます。普通の風邪と比べて全身症状が強いのが特徴です。
- 飛沫感染と接触感染により感染します。

3 インフルエンザの予防について

- 患者の咳やくしゃみ等の飛沫によって感染しますので、「こまめな手洗い」、「適度な湿度管理」による予防を心がけるとともに、かかったと思ったら速やかに医療機関を受診のうえ、「咳エチケット」でまん延防止に努めましょう。
- 高齢者や乳幼児が感染すると重症化する場合があります。重症化を予防するには、インフルエンザワクチンの予防接種が効果的です。

問合せ先 山形県健康福祉部健康福祉企画課
薬務・感染症対策室 室長補佐 庄司 栄一
TEL：023-630-2292
報道監 健康福祉部次長 泉 洋之

インフルエンザに注意しましょう！

- インフルエンザは、**突然の高熱**とともに、関節痛、筋肉痛など全身症状が現れ、のどの痛み、鼻汁、咳などの症状も見られます。
- インフルエンザは**感染力が強く**、流行が始まると短期間に多くの人へ感染が拡大します。
- 例年1月から3月にかけて流行のピークを迎えており、注意が必要です。
- 高齢者、乳幼児などが感染すると重症化する場合があります。重症化を予防するには、**ワクチン接種**が効果的です。



厚生労働省インフルエンザ予防啓発キャラクター「アズキちゃん」

予 防

手洗い

- ・帰宅時や咳・くしゃみで口を押さえた後は、しっかりと手を洗いましょう。
- ・石けんをよく泡立てて、指先から手首まで丁寧に洗いましょう。

適度な湿度

- ・空気が乾燥すると、喉の防御機能が低下し、インフルエンザにかかりやすくなります。
- ・適度な湿度(50～60%)を保ちましょう。
- ・適度な換気を行いましょう。

体調管理

- ・十分な栄養・休養・睡眠を心がけましょう。

人混みを避ける

- ・特に流行時は人混みをなるべく避けましょう。

かかったかなと思ったら

「咳エチケット」

- ・咳が出る時は**マスク**をする。
- ・咳やくしゃみをする時はマスクやティッシュ、袖口などで**口と鼻をおさえる**。
- ・使ったティッシュはすぐ**ゴミ箱**へ。
- ・近くに人がいるときは**顔をそむける**。

発症2日以内に治療薬を

- ・かかったと思ったら速やかに医療機関を受診しましょう。
- ・早期の抗ウイルス薬が有効です。
- ・処方された薬は最後まで飲みきりましょう。

無理をせず休む

- ・症状が軽くても無理をして出勤したり登校することは禁物です。
- ・発症後**5日を経過し**、かつ解熱後**2日間**（幼児は**3日間**）は**自宅で療養**しましょう。
- ・治療薬の服用の有無や種類にかかわらず、「**異常行動**」が報告されています。保護者の方は、お子さんから目を離さないよう心がけ、転落等の事故への防止対策をお願いします。